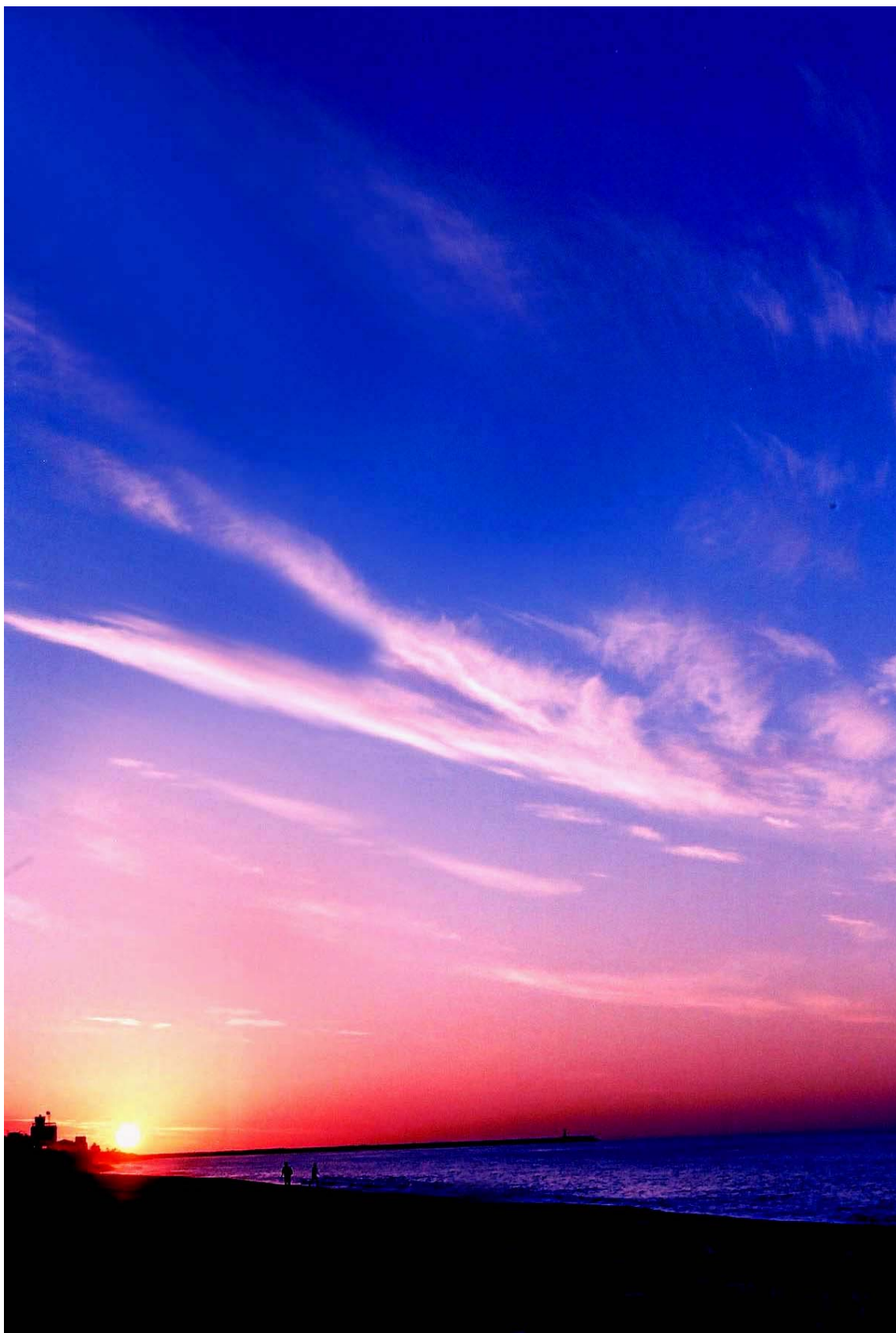


## 第6章 秋から冬へ



初冬の夕焼、夕陽は日本海の向こうへと沈んでゆく(新潟、富山県境付近)。

## 【 I 】 花より美しい果実

秋は花の少ない季節であることは、先にも述べた通りである。しかしそれを補うかのように赤や白や黄色の美しい果実が実る。こうした果実は鳥や動物たちの大事な食料になるばかりか、植物にとっても子孫を繁栄させるための、大事な種子になっている。原色の派手な色をした果実が多いのは、目立つことによって人間を含む、動物の目にとまりやすくしたためであろう。というよりたまたま目立つ種子を結んだからこそ、今日まで種を保存することができたと見るのが妥当なのだろう。しかし多くの動物が色盲であることは、先にもたびたび述べた通りである。

植物の種子はどんな種でも、できるだけ親木から離れたところで発芽することが、互いの生息にとっては都合がいい。動物においてはしばしば子別れの儀式が存在するが、植物ではそんな儀式がないかわりに、自然の摂理で種子が出来るだけ遠方へ運ばれるよう、企図されているものが多い。このための方法には種々あって、どれもアイデアに満ちている。例えば白実の万両は、種子をそのまま蒔いてもあまり発芽しない。水に漬けて外皮を腐らせ、ゼラチン質を取り除いてから蒔くとよく発芽する。つまり鳥に食べられると、このゼラチン質が消化されて、発芽態勢を整えるというわけである。しかも発芽後の肥料分は鳥からのもらい物で十分に満たされる。まさに一石二鳥の仕組みなのである。楓や栂のように種子にプロペラが付いていて、竹とんぼさながら風で遠くへ舞って行くものもある。タンポポの綿毛も同様の仕組みであろう。動物の毛皮に付きやすい構造になっていて、遠くへ運ばれて行くものも少なくない。子供のころ野山を駆け回って、毛糸につけた泥棒草はその典型である。ヤブジラミ(藪虱)も同様であろう。また睡蓮やウォーターヒヤシンスのように種子が水面に浮いて、水に流されて遠くへ運ばれるものもある。いづれにしても大自然は、すばらしいアイデアとトータルのシステムで、全ての種が公平にこの地球上に生存できるように配慮しているのである。

※雌雄異花(シユウイカ)と雌雄異株(シユウイシュ)＝植物には一つの花に雄蕊と雌蕊があり、普通はこれで受粉されて種子ができる。これが一般的な植物で両性花という。これに対して雄蕊だけを持つ花と、雌蕊だけを持つ花が咲く植物もあり、これを雌雄異花と呼んでいる。また植物は多様性に富んでおり、雄花のみが咲く株と、雌花のみが咲く株で一对をなすものもあり、これを雌雄異株と呼び、より進化した動物に近い植物ということができる。更にはイチョウやソテツのように受粉の過程で精子を生じるものもある。植物と動物は分離されたものではなく、一連のものであることを語っているように思えてならない。



ビッシリと実をつけたタチバナモドキ。果実はあまり鳥が食べない(埼玉県嵐山町)。

この項に記されている植物のリスト
------------------

## 【I】花よりも美しい果実

06-01-00-1

- |                                    |            |
|------------------------------------|------------|
| 1) サネカズラ／ビナンカズラ＝真葛／実葛／美男葛          | 06-01-01-1 |
| 2) ムラサキシキブ＝紫式部                     | 06-01-02-1 |
| 3) ウメモドキ＝梅擬                        | 06-01-03-1 |
| 4) タチバナモドキとトキワサンザシ＝橘擬と常磐山査子        | 06-01-04-1 |
| 5) マサキ＝柎                           | 06-01-05-1 |
| 6) ツルウメモドキ＝蔓梅擬                     | 06-01-06-1 |
| 7) ヤブコウジ＝藪甘子                       | 06-01-07-1 |
| 8) センリョウとヒャクリョウ(カラタチバナ)＝千両と百両      | 06-01-08-1 |
| 9) マンリョウ＝万両                        | 06-01-09-1 |
| 10) ナンテン＝南天                        | 06-01-10-1 |
| 11) アオキ＝青木                         | 06-01-11-1 |
| 12) モチと(ナギ)＝麩と(椰)                  | 06-01-12-1 |
| 13) タラヨウ＝多羅葉                       | 06-01-13-1 |
| 14) クロガネモチとナナメノキとソヨゴ<br>＝黒鉄麩と滑木と冬青 | 06-01-14-1 |
| 15) モッコク＝木斛                        | 06-01-15-1 |
| 16) ゴンズイ＝権萃                        | 06-01-16-1 |
| 17) サンゴジュ＝珊瑚樹                      | 06-01-17-1 |
| 18) ガマズミ＝蝦蟇棠梨                      | 06-01-18-1 |
| 19) カマツカ＝鎌柄                        | 06-01-19-1 |
| 20) カナメモチ＝要麩                       | 06-01-20-1 |

<a href="#">目次に戻る</a>
-----------------------